

No2441 二 上 山

2014年 11月23日(日) 晴れ

参加者：佐々木(裕)L、榎谷、上の原、曾和 山城(記)

阿倍野橋発『榎原神宮行き』には30分も待つ事になった... 他に便が無いのかとイライラしていたら榎谷さんの姿が見えてお連れができてほっとした。今回は『二上神社口駅』で全員集合。駅からは1本道で徒歩15分、車道を渡ると正面コースの登山口があった。



今日はこの時期にしては気温が高いから汗が出るのか、しんどいから出るのか。とにかく顔中汗だらけになってきた。前に行く曾和さんのリュックから大きな富有柿が7~8個も出て来た。さぞ重たかったろうと各々に分け頂いた。

雄岳の手前に、万葉歴史悲話の『大津皇子の廟』があり、二上山が日本中に知られる由縁のひとつ。雄岳(517m)は灌木に囲まれ眺望は無い。さらに『馬の背』道を辿り雌岳の山頂(474m)に着いた。広場には石造り大きな日時計があり公園かと思ふ。眺望もよく多くの登山者で賑わっていた。二上山には鉱石など石の資源が豊富であったと聞く。

周辺は桜木が多く桜咲く頃の山景色も見たいものと思う。陽当たりも良いので此処で昼休憩に。佐々木さんが「あの~まだちょっと先の下にあんねん(場所)けど~」と控えめな言葉を尻目に私達は座り込んだ。そして小春日和のなか昼食になごむ。頂いた大柿はやっぱ美味しかった。昼食後下って行く途中に陽当たり良くいい感じの広場があった。(リーダーが昼食場所にと此処の事をモゴモゴと言ってたんや!) 次回は此処でお昼にしましょう。

午後のコースはカクテル好みのオリジナル。こっちの尾根筋から向こうの尾根筋に行くらしい。急な下りでどんとどんと谷底(205m地点)へ降りる... 獣道も人間に歩かれたら獣道でなくなる... 谷のどん底に降りて、次は岩場の登りになるが皆んなは喜々として木の根や岩角を掴んで登ります。上方から女性の声が出て「道に迷ったみたいや」と3人降りて来た。私達が来た道を辿って行った。急な登りが続く中で眺望のきく場所があった。正面にPLの塔、富田林の街並が一望であった。狭いが見過ごせない一服処である。未だ登りが続いたがようやく鉄塔に着き見渡すと全山紅葉で染まっていた。



(大津皇子廟)



(雄岳山頂)



(雌岳の日時計)



(雌岳山頂)

岩屋ものぞき岩屋峠から舗装された下り坂を25分ほど、モミジの紅葉が真っ盛りの祐泉寺に降りて来た。紅葉の名所らしく参拝者も多いようだ。さらに当麻寺駅への途中に野鳥の池があって此の池から眺める山の紅葉も絵になる景色で、しばし佇んで眺め入った。当麻寺から当麻駅までの門前みちには重厚な家々

が建ち並んでいた。古代からの竹内街道、中将姫伝説の当麻寺、鹿谷寺、上の太子と山麓は歴史の宝庫。山道のルートも面白く楽しかったです。

リーダーとK様、ありがとう御座いました。古市に途中下車しての打ち上げしお疲れさまでした。

行程

二上神社口駅 9:45 →10:45 雄岳 11:00 → 11:25 雌岳 12:05 → 12:25 ダイトレ分岐(下り)→
12:45 谷底 →13:05 鉄塔 13:15 →13:35 岩屋峠 →14:00 祐泉寺 →14:18 野鳥の池 →当麻寺
14:35→ 当麻寺駅 15:05 →古市 16:43 → 阿倍野 17:11 着